

築地口商店街振興組合(名古屋市港区) 【代表者:理事長 佐藤良一】

キャッチフレーズ

地域連携による「築地ブランド」の構築で個店と商店街の魅力アップ！

活性化モデル商店街としてのモデル性

築地ならではの逸品や、地域の高齢者等を中心とした生活を楽しむ場の提供など、
“築地らしさ”をキーワードにオリジナリティにこだわる交流型商店街

商店街の将来ビジョン

築地口商店街は名古屋港の玄関口に位置し、その周辺はウォーターフロントとしてのまちづくりが進められており、名古屋港水族館、イタリア村、ポートピアなどの大規模な観光・集客施設が立地している。このような立地環境にあるものの、築地口は通過点的な存在となっており、港へ訪れる人々を商店街へ吸引することができていない状況にある。また、周辺人口は高齢化が進み、港区は市内で最も大型店がひしめく厳しい環境にある。

1 一店逸品運動で商店街の個性と魅力アップ

築地らしい、または優れている、オリジナル性があるといった商品やサービスを開発する一店逸品運動を展開し、大型店との差別化を図り、個性と魅力ある商店街として「築地ブランド」を構築する。

2 地域との連携による高齢者が活躍できる場づくり

地域との連携により、高齢者やシニアがそれぞれの知識や技能を生かし、商店街や地域活動の中で活躍できる場を提供する。高齢者はじめだれもが「楽しく、遊べ、学べ、食べ、そして憩い、ふれあえる」商店街として、この取組みそのものを「築地ブランド」として打ち出していく。

具体的に取組む事業内容

一店逸品運動 (20年度～22年度)

築地口商店街の各店舗で逸品の開発に取り組み、商店街として逸品の認定と広報を年間通して行う一店逸品運動を継続して実施する。

マイスター教室 (20年度～22年度)

地域の高齢者やシニアの中で知識、技能、経験等を有する方を「マイスター(名人)」として登録し、商店街主催のイベントや空き店舗を活用した教室、小中学校の授業等でボランティアとして活躍してもらおう。

緑日(築地口神社)・市の開催 (20年度～22年度)

築地口神社の参拝客を対象としたおもてなしや、市(フリーマーケット)等を開催し、街の賑わいを創出し地域の結びつきを深めていく。